

2009年10月31日(土)

中日新聞 (尾張版)

(第3種郵便物認可)

一宮の街全体を キャンパスに

生涯学習 講座始まる 受講生を募集

一宮市の街全体をキャンパスに見立て、多彩な講師陣による市民向け生涯学習講座「いちのみや大学」がスタートした。コンサル会社「一人の森」(岡市大和町宮地花池)の野田直人社長(左)が主宰し「互いに学び合って街に活気を呼びたい」と期待している。現在、受講生を募集中だ。

野田さんは国際協力機構(JICA)の専門家として、アフリカで農業支援などに従事した経歴の持ち主。名古屋市の「大ナゴヤ大

学」など各地で生涯学習の幅が広がってきており「一宮でも面白い活動をしている人を講師に招き、学び合おう」と呼び掛けた。



大島誠二さん(後ろ)の講義を楽しむ参加者。左端が野田直人さん——一宮市島崎1の織部亭で

野田さんが講師を見つけてくるほか、受講生も見つけて連れてくるなど、自発的な取り組みも歓迎する。

レストラン「織部亭」(岡市島崎一)で二十九日に開かれた第一回講義には、三千代からお年寄りまで二十六人が参加。講師を務めた織部亭店主の大島誠二さんが、絵画や陶芸などの若手芸術家との交流や、大病を乗り越えたことなど人生を朗らかに語り、受講生は熱心に聞き入った。十一月十三日にはアフリカのとんぼ玉の解説、同十六日にはデジタルカメラ入門講義を予定。受講料は千二千円。問い合わせは大学事務局☎電0586(72)5445

(藤原啓嗣)